

令和 8 年度 事業計画

(法人本部)

理 念 「ほっと にこっと あふれる元氣」

～温かさで癒され、優しさで励まされ、笑顔と笑顔の育ち合い～

令和 8 年度 業務効率化の推進
 職員育成強化
 園庭用地整備

役員会

○監事会

令和 7 年度監事監査報告の作成

○理事会（年 4 回）

令和 7 年度監事監査報告及び決算書等の承認、評議員会への提出

事業計画及び当初予算の承認、規程等の変更

評議員選任解任委員会の招集決定

役員改選案、評議員会の招集決定

○評議員会

役員の選任・解任

決算等の承認

※その他、必要に応じて
議案として付議する

令和 8 年度 事業計画（目標）

- 1 令和 7 年度に引き続き、子どもを取り巻く社会全体の様々な変化に対応するべく情報収集及び保育の見直し等検討・実践する。
 - ・12 月の「こども性暴力防止法」に向けて情報収集し丁寧に進めていく。
 - ・子ども自身の能力を信じ、発達に合った整った環境を提供し、自ら選択して決断できる力を育み、将来自律して人生の課題を自分で超えることが出来るように、子どもの発達を最大限に促すことを目的とする。
 - ・東京都の「すくわくプログラム推進事業」「ピラミード メソッド」「緩やかな担当制」実施。
 - ・保育 ICT 化の更なる推進により、業務効率化、保護者満足度向上を目指す。
- 2 心身の健康の増進とその健全な発達を促す
 - ・食育の充実・バイキング給食・魚の解体ショーを実施。
 - ・食育に関しては、農家と提携し作物の収穫・田植え稲刈り等を経験することにより、育てる喜び・感謝・命の尊さ等を学ぶことを目的とする。
 - ・アレルギー児対応（面談含む）、異職種会議の徹底、アレルギーへの理解を深める。
 - ・日本文化への理解を深める（舞・和楽器）
将来国際社会での活躍も考えられる子ども達が、自国への理解を深め、日本人としての誇りを持てる事を目的とする。
 - ・防災教育、環境教育、感染症対策の更なる徹底に努める。
 - ・コーディネーショントレーニングの更なる向上（脳と身体を刺激し楽しく遊びながらやる気と運動能力を高める。）
 - ・「ピラミード メソッド」をベースにしたプロジェクト型保育を実施。
 - ・虐待防止に対し、職員研修の徹底、人権チェックシートによる自己点検と共に園児の教育、保護者への啓蒙を行う。
- 3 地域連携強化
 - ・ひろば事業（地域子育て家庭及び出産を控えた家族対象）、もうすぐパパママ体験会、育児講座、デイケアセンターとの交流及び地域貢献事業（ねりま社会福祉法人等ねっと）での連携・活動を更に拡大する。
 - ・近年増加中の育児困難家庭の為、関係機関との連携を強化する。
 - ・地元警察署と共同し交通安全に努める。
- 4 職員育成環境改善
 - ・人材育成を目的とするカウンセリング研修やファシリテーション研修、危機管理研修、職員の IT リテラシーの更なる向上等。又ヒアリングシート、目標管理シート、Google アンケートなどを用い職員の各々の思いや意欲の向上に努め、対話的で良好な職場環境を目指し常に努力する。
 - ・職員の心身の健康意欲向上の為、表彰制度、人事考課制度の再構築、係への特別手当、有休休暇取得率の向上、年間を通しての付与等に努める。アプリの導入で労務関係事務の業務効率化を進める。
 - ・子育て中、子育て後の職員の働き方や、その他の職員のフォローの体制を整える。
 - ・オランダの政府教育評価機構によって開発された幼児教育法（ピラミード）をベースにしたプロジェクト型保育を推進するにあたり引き続き研修を重ねていく。
 - ・保育所に於ける自己評価の視点を広げ実施し、保育の質の向上につなげる。

令和 8 年度 事業計画（目標）についての想定されるリスク

- 1 令和 7 年度に引き続き、子どもを取り巻く社会全体の様々な変化に対応するべく情報収集及び保育の見直し等検討・実践する。
 - ・12 月の「こども性暴力防止法」施行にあたり、職員説明を丁寧に行い人権に配慮していく必要がある。
 - ・子どものための環境設定が大人の都合にならないように、発達に合わせたねらいと子どもの姿をしっかり確認し、対話による丁寧な振り返りが必要。
 - ・「すくわくプロジェクト」や「ピラミード」などへの取り組みに対して負担感のみが増加しない様に、目的の丁寧な共有と手当や職員増などに取り組みたい。
- 2 心身の健康の増進とその健全な発達を促す
 - ・魚の解体ショーや農作業等の経験、本物に触れる活動は、活動行程の危険増・子ども達の負担増・職員の負担増等考えられる。リスクマネジメントをしっかりと行い、怪我無く安全に、そしてそれ以上に子ども達にとって有意義な活動になるように計画したい。
 - ・アレルギー児増加・アレルギー項目の多様化による誤食などリスクマネジメントをしっかりと行い、アレルギー児対応をマニュアル通り徹底する。
 - ・虐待防止や不適切保育など、社会的に注目されている事もあり、誤解を生まないような働きかけをするとともに、研修やセルフチェックを徹底する。
- 3 地域連携強化
 - ・地域連携活動は土曜日に開催することが多く、職員の負担が多い。少ない人数で効率よく開催できるよう、工夫が必要。
 - ・「もうすぐパパママ体験会」の認知度が低いため、過去の成功例データを集め時期や内容を慎重に検討していく。
- 4 職員育成環境改善
 - ・ICT 化による業務効率化推進にあたり、職員の意見を丁寧に聞き、生成 AI やアプリなども活用しながら保育園に関わる全ての人に良い環境になるように進めていきたい。
 - ・時短勤務職員が増え、シフトが偏る可能性がある。不公平感につながらないようにしていく。
 - ・有給休暇取得率向上は課題だが、体調不良等による急な休みも多いため、安全第一で余裕のあるシフト作成を心がけていきたい。

令和 8 年度 事業計画

練馬二葉保育園

[職 員]

職員会議（月 1～2 回）、幼児会議・乳児会議（月 1 回）、リーダー会議（月 1 回）、
フロアー会議（月 1 回）、給食（異職種）会議（月 1 回）、クラス別会議（月 3 回）、
反省会議（各行事後）、個別懇談（年 2～3 回）、進級引継会議（年 1～2 回）、
企画会議（行事前、年 6～7 回）、ルーキー会議（年 6 回）

[保護者]

入園進級式、クラス別懇談、ティータイム、親子遠足、講演会、
緊急メール配信訓練、保護者参観、運動会、発表会、卒園式

[災害対策]

避難訓練（月 1 回）、水害訓練（年 1 回）、緊急メール配信訓練（年 1 回）、
防犯訓練（年 3 回）、
防犯設備の保守・点検、建築設備の定期検査（年 1 回及び 3 年に 1 回）

[実習生の受入れ]

秋草学園短期大学 東京教育専門学校 こども教育宝仙大学 他

[小学校との連携]

保育士と教員の連携（4～5 月、12～1 月・意見交換の場を設ける）
児童要録の記入及び提出（2 月）
幼児と児童の交流（6～8 月及び 10 月、2 月・小学校訪問）
保護者の理解（4 月、10～12 月、2～3 月）

[地域との交流]

消防・警察への七夕飾りプレゼント、町内盆踊り参加、
敬老の日プレゼント、ハロウィンパレード、デイサービスの運動会参加
町内消防訓練参加、学童クラブ体験、小学生町探検、
中学生職場体験受け入れ、地域子育て家庭対象「育児講座」、
地域子育て家庭へ保育室開放「みんなのひろば」実施
近隣小学校との交流

[施設整備]

不具合箇所の修繕

[非常用備品]

無線携帯電話、非常用食品、飲料水、毛布、布団、簡易トイレ、ラジオ、梯子、
コンロ、ローソク、非常用燃料、懐中電灯、スロープ、可搬式非常用電源

[職員福利厚生]

音楽鑑賞、食事会、舞鑑賞、自転車等賠償責任保険加入、園服支給
インフルエンザ予防接種半額負担、借上げ社宅制度

令和 8 年度 職員研修計画

	研修内容	研修職員	予 算		研修内容	研修職員	予 算
年 間	園内研修	全職員			対話研修	全職員	35,000
4 月	0 才児研修	看護師 乳児担当他		9 月	地唄舞指導	3～5 才児 担当職員	
	新任職員研修	新任職員			危機管理	全職員	
	対話研修	全職員	35,000		園内研修 ピラミーデ	全職員	50,000
5 月	救命講習 (普通)	無資格 職員		10 月	対話研修	全職員	35,000
	カウンセリング 研修	全職員	70,000		リーダー向け研修	中堅職員	
6 月	保育研究大会	対象職員	10,000		保健・アレルギー 研修	看護師	
	新任職員研修	新任職員	10,000	11 月	園内研修 ピラミーデ	全職員	50,000
	園内研修 ピラミーデ	保育士	50,000	12 月	発表会 (他見学)	リーダー 希望職員	10,000
	児童虐待研修	全職員			コオディネーショ ンブロンズ資格	対象職員	30,000
	対話研修	全職員	35,000	1 月	対話研修	全職員	35,000
7 月	キャリアパス研修	副主任 リーダー			緊急時対応訓練	保育士 看護師	
	Canva・生成 AI 研修	全職員	22,000		園内研修 ピラミーデ	全職員	50,000
	夏期研修	全職員		2 月	事故予防・安全対策 研修	全職員	
	対話研修	全職員	35,000		ピラミーデ 認定研修	リーダー	52,000
8 月	夏期研修	全職員		3 月	園内研修 ピラミーデ	全職員	50,000
9 月	救命講習 (上級)	資格更新 職員			人権擁護研修	全職員	
	保育実技	保育士					

令和 8 年度 自衛消防訓練予定

練馬二葉保育園、保育ルームふていば

訓練日	訓練 種別	内 容	備 考
4 月 2 8 日 (火)	総合訓練	地震 想定	
5 月 1 9 日 (火)	総合訓練	火災 想定	
6 月 1 5 日 (月)	総合訓練	地震 想定	
7 月 1 3 日 (月)	総合訓練	火災 想定	
8 月 5 日 (水)	総合訓練	地震 想定	
9 月 1 日 (火)	引き取り訓練	地震 想定	
10 月 6 日 (火)	総合訓練	火災 想定	
1 1 月 1 2 日 (木)	総合訓練	火災 想定	防災学習 (起震車)
1 2 月 7 日 (月)	総合訓練	水害 想定	
1 2 月 2 3 日 (水)	総合訓練	地震 想定	
1 月 1 9 日 (火)	総合訓練	火災 想定	
2 月 1 5 日 (月)	総合訓練	火災 想定	
3 月 1 6 日 (火)	総合訓練	地震 想定	

※総合訓練 (消火・通報・避難)

令和 8 年度 防犯訓練

訓練日	訓練内容	備 考
5 月 2 6 日 (火)	1F より不審者侵入	
8 月 7 日 (金)	警察による講習会	
12 月 1 5 日 (火)	1F より不審者侵入	

避難訓練年間計画(3～5歳児)

令和 8 年度

月	想定	月間目標	留意点
4月	地震 午前(10:20)	・ ベルの音に驚かず、地震発生時の避難方法がわかる。	・ 非常ベルの音の意味や地震の時はどうしたら良いか、良く子どもたちと話し合う。 ・ 防災頭巾の被り方も良く訓練する。
5月	火災 午前(10:20)	・ 保育士の話を聞き、安全な避難方法がわかる。	・ 火災の怖さを子ども達とよく話し合い、避難の方法をわかりやすく伝える。
6月	地震 午後(10:00)	・ 外に避難することがあることを知り、自分で避難用靴を履こうとする。	・ 防災頭巾の被り方や、保育士の指示を良く聞くことができるようにする。
7月	火災 (スロープ) 午前(9:30)	“おかしも”が分かり、安全な避難方法が身に付く。	・ “おかしも”の意味が分かるように、子ども達とよく話し合う。
8月	地震 午前(15:10)	・ 地震時の避難方法が身に付く。	・ 地震時の約束をよく話し合い、避難方法が定着したかを確認していく。
9月	地震 (引き取り訓練) 午後(16:45)	・ 自分で防災頭巾や避難用靴を素早く身に付けることができる。	・ 防災頭巾・避難用靴を素早く子ども達に渡す。
10月	火災 (調理室出火) 午前(10:20) (第二避難場所へ避難)	・ 迅速に安全に避難する方法がわかる。 ・ 第二避難場所へ速やかに避難靴を履いて安全に避難する。	・ 出火場所が分かったら、どちらに逃げたらよいのかが分かるように子ども達に説明し、早く逃げられるようにしていく。
11月	火災 (スロープ) 午前(11:00)	・ 迅速に、安全にスロープや階段を使って避難する方法がわかる。	・ 避難時の注意事項を子ども達とよく話し合い、安全に迅速に行動できるようにしていく。
12月	水害 午前(9:45)	・ 水害・火災・地震・不審者様々な場合での避難方法の違いが分かる。 ・ 保育士の指示を聞き慌てずに避難できる。	・ 各災害時、何が違い、どのような事に気を付け避難したらいいのか子どもたちに伝えていく。
12月	地震 (夕方保育時) 午後(17:00)	・ どんな時間帯でも、落ち着いて保育士の話が聞け、避難できる。 ・ 自分の身を守るための方法がわかる。	・ どんな時間帯でも、どの保育士の指示でも守ることができるようにしていく。
1月	火災 午後(16:15)	・ 避難訓練を通して、生命の大切さを知り、自分の命を守るためにどう逃げたら速いかが分かる。	・ 命の大切さを子ども達に知らせると共に、正しい避難方法を身に付けるようにしていく。
2月	火災 (スロープ) 午前(9:50)	・ “おかしも”を守って、安全な避難方法が身に付く。	・ 自分の命を守るためにはどうしたら良いのかを子ども達と話し合うと共に、毎月の避難訓練の大切さを知らせていく。
3月	地震 午前(10:30)	・ 地震時の身の守り方が分かり、自分の命を守ることができる。	・ 命の大切さを子ども達に知らせると共に、正しい避難方法を身に付けるようにしていく。

※ 乳児の目標:乳児は安心して保育士と一緒に避難できるようにする。

避難訓練年間計画

職員

令和8年度

月	想定	月間目標	留意点
4月	地震 午前(10:20)	○職員の役割分担を確認しておき、すぐに動いたり、指示出しが出来る。	○初めてのクラスでの訓練となるので、子どもたちが落ち着いて指示に従えるように、日頃から話し合いをしておく。
5月	火災 午前(10:20)	○子ども達に的確な指示を出し、安全に外へ避難誘導する。	○静かに慌てないで安全に避難できるよう援助していく。
6月	地震 午前(10:00)	○静かに安全な場所に避難できるよう、指示を出す	○全体に目を配り、防災頭巾の被り方や避難方法を援助していく。
7月	火災 (スロープ) 午前(9:30)	○事前に子ども達とよく話し合い、“おかしも”を守って避難できるよう誘導する。 ○防災頭巾を自分で被ったり、避難用靴を履けるようにする。	○出火場所・避難方向を明確に伝え、約束を守りながら、間違えずに避難できるよう誘導する。 ○防災頭巾をうまく被れない子や、靴を履けない子へは素早く対応する
8月	地震 午後(15:10)	○慌てず安全に避難できるよう指示を出し、全体をよく見て子ども達の様子を確認する。	○避難時の約束を確認し、避難方法が正しいか、目を配って援助していく。
9月	地震 引き取り訓練 午後(16:45)	○ 防災頭巾や避難用靴を、素早く身に付けられるようにする。	○落ち着いて、すぐに安全な場所に避難できるように援助する。
10月	火災(第二避難 場所へ避難) (調理室出火)午 前(10:20)	○子ども達が方向を間違えずに迅速に避難できるよう誘導する。	○避難方向を的確に伝え、間違えずに速く安全に避難できるようにする。 ○職員間で連携を取り、第二避難場所へ全員を安全に誘導する。
11月	火災 (スロープ) 午前(11:00)	○迅速、安全に全員がスロープや階段を使用して、戸外に避難できるよう誘導する。	○スロープと階段の状況を見て、どちらの方で降りれば良いか指示を出していく。 ○各クラスと連携を取り、迅速に避難できるよう協力体制をとっていく。
12月	水害 午前(9:45)	○水害時の避難方法が分かるように伝えていく。	○適確に分かりやすい指示を出せるようにする。
	地震 夕方保育時 午後(17:00)	○どんな時間帯でも、どのクラスの子どもにでも的確に指示を出す。	○静かに保育士の指示に従って、行動できるようにしていく。
1月	火災 午後(16:15)	○命の大切さを知らせると共に、正しい避難方法を身に付けさせる。	○出火場所・避難方向を明確に伝え、迅速に避難できるようにする。
2月	火災 (スロープ) 午前(9:50)	○自分の命を守るためにどうすれば良いかを伝えていく。	○スロープと階段の速く降りられる方に誘導していく。 ○子ども達に分かりやすく命の大切さを話していく。
3月	地震 午前(10:30)	○命の大切さを知らせると共に正しい避難方法を身に付けさせる。	○ 確実に安全に身を守れているかクラス全体を確認し、援助していく。

※ 乳児の目標:乳児は安心して保育士と一緒に避難できるようにする。

避難訓練年間計画

ぶていば職員用 令和8年

月	想定	月間目標	留意点
4月	地震 午前(10:20)	・職員の役割分担を確認しておき、すぐに動いたり、指示出しができる。	・初めての訓練となるので、子ども達が落ち着いて指示に従える様に、日頃から話し合いをしておく。
5月	火災 午前(10:20)	・事前に子ども達とよく話をして避難出来る様誘導する。	・全体に目を配り、防災頭巾の被り方や避難方法を援助していく。 ・防災頭巾をうまく被れない子や、靴を履けない子へは素早く対応する。
6月	地震 午前(10:00)	・子ども達に的確な指示を出し、安全に外へ避難誘導する。	・静かに慌てないで安全に避難出来る様援助していく。
7月	火災 (スロープ) 午後(9:30)	・静かに安全な場所に避難出来る様指示を出す。	・出火場所、避難方向を伝え、間違えずに避難できるよう誘導する。
8月	地震 午後(15:10)	・泣かずに安全に避難出来る様指示を出し、全体をよく見て子ども達の様子を確認する。	・避難時の約束を確認し、避難方法が正しいのか、目を配って援助していく。
9月	地震 引き取り訓練 午後(16:45)	・どんな時間帯でも、的確に指示を出す。 ・防災頭巾や避難用靴を、素早く身に着けてやれる様にする。	・落ち着いて、すぐに安全な場所に避難出来る様に言葉を掛けていく ・防災頭巾や避難用靴を、素早くに身に着けられるように援助する。
10月	火災(調理室出火) 午前(10:20)(第2避難場所へ避難)	・迅速、安全に全員が、戸外に避難出来る様誘導する。・全員を第2避難場所へ安全に避難させる。	・各クラスと連携をとり、迅速に避難出来る様協力体制をとっていく。・職員間で連携をとり、第2避難場所へ全員を安全に誘導する。
11月	火災 (スロープ) 午前(11:00)	・子ども達が方向を間違えずに迅速に避難出来る様誘導する。	・避難方向を伝え、間違えずに先生と一緒に速く安全に避難出来る様にする。
12月	水害 午前(9:45)	・水害時の避難方法が分かるように伝えていく。	・的確にわかりやすい指示を出せるようにする。
	地震 夕方保育時 午後(17:00)	・どのようにすれば避難できるかをしっかり伝えていく。	・静かに保育士の指示に従がって、行動出来る様にしていく。
1月	火災 午後(16:15)	・正しい避難方法を身につけさせる。	・出火場所、避難方向を的確に伝え、迅速に避難出来る様にする。
2月	火災 (スロープ) 午前(9:50)	・正しい避難方法を身に付けさせる。	・安心して安全に避難できるようにしていく。 ・子ども達に分かりやすく命の大切さを話していく。
3月	地震 午前(10:30)	・命の大切さを知らせると共に正しい避難方法を身に付けさせる。	・確実に、安全に身を守る様全体を確認し、援助していく。

※乳児の目標・・・乳児は安心して保育士と一緒に避難出来る様にする。

練馬二葉保育園・ぷていば

食育年間目標・豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていく。・望ましい食習慣の定着と心身の健康育成を図る。・季節の行事や伝統食、旬の食材を味わい、豊かな感性を養う。

年齢	6ヶ月未満児	6ヶ月～1歳3ヶ月未満	1歳3ヶ月～2歳未満	2歳～2歳6ヶ月未満	2歳6ヶ月～3歳未満	3歳児	4歳児	5歳児
ねらい	・お腹がすき、ミルクが飲みたい時に、飲みたいだけゆったりした環境の中で飲む。 ・安定した人間関係の中で心地良い生活を送る。 ・母乳、ミルク以外の味を知る。	・安定した人間関係の中で、ミルクを飲んだり食事をしたりし、心地良く過ごす。 ・個人差に応じて離乳を進め、食品の種類や量が増える。	・楽しい雰囲気の中で喜んで幼児食を食べる。 ・色々な食品や調理形態に慣れる。	・楽しい雰囲気と落ち着いて自分で食事をしようとし、好きな食べ物が増える。 ・保育者を仲立ちとして友達と一緒に食べる楽しさを味わう。	・楽しい雰囲気と落ち着いて自分で食事をしようとし、好きな食べ物が増える。 ・食生活に必要な習慣を知る。	・楽しい雰囲気の中で落ち着いて友達と一緒に食事をする。 ・行事食やバイキング給食を味わい、食事の意味や楽しさを知る。	・食事のマナーや食事をすることの意味がわかり、友達と一緒に楽しんで食事や間食をとる。 ・自分でできる範囲を広げながら、健康、安全等食生活に必要な基本的な生活習慣、態度を身に付けていく。	・食事のマナーや食事をすることの大切さがわかり、友達と一緒に楽しんで食事や間食をとる。 ・食と健康についての知識を深め、食生活に必要な基本的な生活習慣、態度を身に付ける。 ・食に関する様々な活動に楽しく取り組み、関心を高める。
	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容
健康	・よく遊び、よく眠る。 ・授乳の前後や汚れた時に、顔や手をふいてもらう。 ・保育者にゆったり抱かれてミルクを飲む。	・食事の前は手洗いをしてもらったり、食後は手や口、顔を清潔にもらい、心地良さを喜ぶ。	・よく遊び、よく眠り、機嫌良く食事する。 ・食事の前後、清潔になる心地良さを感じる。 ・食後はお茶を飲み、口の中がきれいになる。 ・大人の真似をして、よく噛んで食べようとする。	・よく遊び、よく眠り、喜んで食事をとる。 ・手洗いの仕方を覚え、清潔になる心地良さを感じる。 ・よく噛んで食べる。	・楽しみながら食事をし、こぼさないように食べる。 ・食事の後、口のまわりを拭き、保育者の手助けによってうがいを行う。 ・よく噛んで食べる。	・よく噛んでおいしく食事をする。 ・歯磨きの大切さを知り、食後の口腔内を清潔にする。	・栄養指導等を通し、体と食物の関係に興味を持ち、苦手な物も少しずつ食べられるようになる。	・栄養指導等を通して食事の大切さがわかり、苦手な物も量を決めて食べようとする。
人間関係と食文化	・授乳してくれる人に関心を持つ。 ・スプーンから飲むことに少しずつ慣れる。	・授乳や食事を食べさせてくれる人に信頼感を持つ。 ・スプーンやフォークを使って食べることに興味を持つ。 ・コップに慣れる。	・スプーンやフォーク等を使って自分で食べようとする。 ・両手でコップを持ち、自分で飲もうとする。 ・食前後の挨拶をする。	・苦手な物でも励まされる中で、少しずつ食べようとする。 ・スプーンやフォークを使って食べる。 ・自分と他の子の食べ物の区別がつく。	・苦手な物でも励まされる中で、少しずつ食べようとする。 ・スプーンやフォークを正しく使う。 ・由来等を聞きながら行事食、伝統食を味わう。	・正しい姿勢で食べる。 ・箸の正しい使い方を知る。 ・食事の準備や後片付けを自分ですると共に、当番活動を通して、友達の手伝いもしようとする。 ・バイキング給食の仕方がわかり、楽しく食べる。 ・行事食、伝統食に興味を持つ。	・姿勢良く食べることができる。 ・食事のマナーがわかる。 ・友達と一緒にバイキング給食を楽しんで食べる。 ・衛生、安全について知識を深め、当番活動に積極的に取り組む。 ・季節の行事や伝統食を知る。	・姿勢良く、マナーを守って食べる。 ・食事を作ってくれた人に感謝の気持ちを持つ。 ・衛生、安全に気をつけながら当番活動をし、色々な友達や保育者と楽しく食事をする。 ・季節の行事や伝統食の由来を知り、味わう。
食への関心と知識、感謝の心	・1日1回1品1匙から始め、母乳やミルク以外の味に慣れる。	・用意された食べ物に興味を持つ。	・手づかみでも意欲的に食べようとする。 ・身近にある色々な食材を見る。	・色々な食品の名前を知ったり、興味を持つ。	・バイキング給食を見学することで、3歳児クラスへの憧れを抱き、食に興味を持つ。	・収穫の喜びを味わう。 ・献立や食品に興味や関心を持つ。 ・野菜の栽培により、成長の仕方や旬を知り、収穫の喜びを味わう。 ・給食を作ってくれる人と直接話すことによって、食への関心を深め、感謝の心を持つ。	・色々な食材に触れ、また、下準備を手伝ったりすることで食への興味、関心を深める。 ・収穫の喜びを味わいながら、旬のあることを知る。 ・自然の恵みやいのちの大切さに気づく。	・米の栽培を通し、成長の過程を観察する。また米や野菜の収穫の喜びを味わう。 ・自然の恵みやいのちの大切さを理解する。 ・クッキングを通し、自分で作り、食べる楽しさを味わい、食と健康について知識を深める。

食育活動	栽培					・野菜に触れる ・ピーマン作り(植えつけ、収穫)	・野菜に触れる ・大根作り(種まき、植え付け、収穫) ・ゴーヤ作り(植え付け、収穫)	・お米作り(芽だし、種まき、田植え、 稲刈り、脱穀、精米、 おにぎり作り、試食) ・夏野菜収穫(ミニトマト、なす、きゅうり)
	食材に触れる	色々な食材を見たり、 触れたりする		色々な食べ物の名前 を知る			・野菜の塗り絵、本・紙芝居、野菜に触れる(皮むき等) ・さつまいも掘り	・さつまいも掘り
	クッキング					・カレー作りのお手伝い ・かぼちゃのお菓子作り	・カレー作りのお手伝い ・バター作り	・朝食作り ・カレー作り ・おにぎり作り
	バイキング					・バイキング給食	・バイキング給食 (食べ物のお話)	・バイキング給食 (食べ物のはたらきについての話)
	その他	◎行事食、伝統食の提供 ◎給食、食材の展示、紹介 ◎食情報の発信(おたより、レシピの配布) ◎食事、栄養相談						
	反省 評価							